



ハイソリッド型
シリコンアクリル



二液



無鉛

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド
放散等級

NTX

トルエン・キシレン
を含んでいません

ATOMIX

フロアトップ® ガラスコートTG

コンクリート床用

一回塗り仕上げ

高硬度・高光沢

フロアトップガラスコートTGは、シリコンアクリル樹脂系のハイソリッドクリアー塗料で、1コートで、車の傷防止に使われるガラスコートと比べて約30倍の膜厚が付きます。耐傷付き性、耐汚染性、耐薬品性に優れ、高光沢の塗膜を長く維持します。

今までに
ない輝きを
ご提案

特長

1. 優れた耐久性を発揮

自動車や物流関連はじめ、重量物が搬送し耐久性が求められる各種工場や倉庫床に最適です。

2. 高硬度で傷が付きにくい

高い硬度 (3H) があるため傷が付きにくく、塗膜を長期間維持します。

3. メンテナンス性が向上

汚れが付きにくく、消毒用アルコールの跡や油污れも、簡単な拭き掃除でキレイにできます。

4. 高い光沢で職場を明るく

塗装後は照度が5~10%、輝度なら2~5倍それぞれアップします。

※照度は塗装面付近の明るさ。輝度は塗装面から光源の反射

用途

重量物を運搬するため耐久性が求められる工場や倉庫等の床

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】 フロアトップ ガラスコートTG

4kgセット：主剤3kg / 半缶、硬化剤1kg / 1.3L角缶
(冬用シンナー：1.6kg / 2L角缶)

【塗り面積】

4kgセット	既存塗膜面 (フロアトップアクア フォルティス) 仕様 50 ~ 66 m ²
--------	---

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します。

【施工温度と
可使時間】

施工温度	5℃	15℃	25℃	35℃
フロアトップガラスコート TG	40分	40分	30分	20分
フロアトップガラスコート TG (冬用シンナー 3 ~ 10% 添加)	30分	30分	不可	不可

※可使時間の過ぎた材料は使用しないでください。



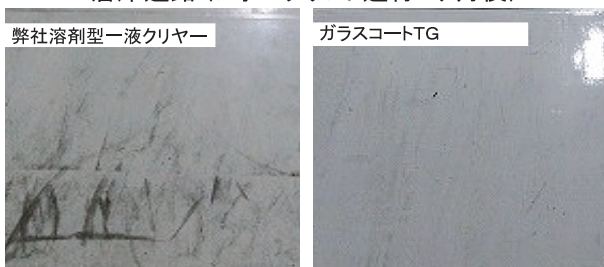
(一社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	A03216
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

消防法：
主 剤 / 第四類第四石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁
硬化剤 / 第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁
冬用シンナー / 第四類アルコール類・
危険等級Ⅱ・火気厳禁

【標準色】 クリヤー



倉庫通路 (フォークリフト通行6ヶ月後)



傷や汚れに強く、初期の美しさを長く保持します

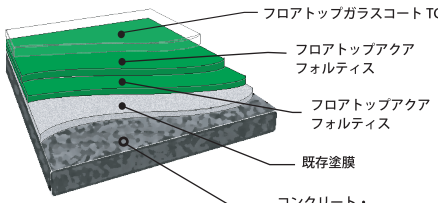


施工後、照度は約10%・輝度も5倍程アップ。職場が明るくなりました

アトムクス株式会社

施工仕様例

既存塗膜面 (フロアトップアクア フォルティス) 仕様 ※コンクリート面への施工では、下塗り前にフロアトップアクアプライマー ハエレオを塗装してください。

工程	製品名	混合比	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23°C)	既存塗膜面仕様 (AQ-UWS-I-TG) 
下地処理	フォルティス施工要領に準ずる					
下塗り①	フロアトップアクアフォルティス	主剤:硬化剤:水 12:1.5:1.5	—	0.15	1以上	
下塗り②	フロアトップアクアフォルティス		—	0.15	3~24	
上塗り	フロアトップガラスコートTG	主剤:硬化剤 3:1	0~10 (冬用シンナー)	0.06~0.08	—	

※ 「学校環境衛生の基準」「厚生労働省指針」等の対応が必要な場合の仕様については当社までお問い合わせください。
注 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書をご参照ください。

ガラスコートTG 適応下塗り材	フロアトップアクアフォルティス、エポ21 フロアトップ#7000、#8000、#8500、#8500速乾 エポワン	※下塗りにフォルティスを施工した場合、25°C未満のときは24時間以内に、25°C以上のときは8時間以内に、ガラスコートTGを塗装してください。 ※下塗りにフロアトップ #8500 速乾を施工した場合、25°C以上のときは8時間以内に、ガラスコートTGを塗装してください。 ※下塗りにフロアトップ #8000 冬型またはエポワン冬型を施工した場合、ブラッシング(白化)を起こす可能性があるため、フロアトップアクアプライマー ハエレオを施工してからガラスコートTGを塗装してください。
--------------------	---	---

開放条件と養生時間

フロアトップ ガラスコートTG	温度	5~10°C	10~15°C	15~20°C		25~35°C
	フロアトップガラスコートTGに 添加する冬用シンナーの量		10%	6%	3%	—
開放条件	上塗り可能・軽歩行可能	8時間	8時間	5時間	8時間	3時間
	通行・軽作業・台車など	16時間	8時間	8時間	16時間	5時間
	車両・重量物などの通行	24時間	24時間	16時間	24時間	16時間

注 フロアトップガラスコートTGの開放時間(硬化性)は、温度と湿度により変化し、低湿度の場合は、硬化が遅くなります。

お客様の声

- ・タイヤマークが落としやすく、清掃が楽になりました。
- ・自分たちの塗装で、明るくきれいな職場環境に変えられました。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5°C未満の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。
- (4) 下地の状況や塗り方により、塗布量が増減します。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) フロアトップアクアフォルティスは、水を加えた硬化剤および主剤と硬化剤を混合した後は、炭酸ガスを発生しながら固まりますので、密栓しないでください。
- (3) フロアトップガラスコートTGは、空気中の水分と反応しますので、開缶後はできるだけ早く使い切ってください。
- (4) 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- (5) 二液型塗料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (6) 可使時間を越えた材料の使用は物性を著しく低下させますので、使用しないでください。
- (7) 小分けする場合は、必ず小分けする前に充分に攪拌し、均一にしてから行ってください。
- (8) 周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (9) 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (10) タンク内部の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。
- (11) ローラーは毛が抜けにくい中毛ローラーをご使用ください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度の高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 塗装具の洗浄には合成シンナーNo.2をご使用ください。
- (3) 直射日光が当たり高温となる場所や、凍結する恐れのある場所を避けて保管してください。
- (4) 養生時間 歩行開放=8時間 重量物開放=24時間以上(気温23°C・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- (2) 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- (3) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、事前に当社までご相談ください。

5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社までお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



事業所情報



製品情報

<https://www.atomix.co.jp>

検索